

ワンニャン会(街の中からうんちの撃退)



【伊勝学区】

■世帯数：4,098 世帯

■人 口：7,080 人

■面 積：0.783 k²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

① ワンニャンパトロール

会員が「ワンニャンパトロール隊」のたすきをかけ、犬の散歩をしながら飼い主のマナー向上の啓発や地域の防犯パトロールを行う。

② 美化活動への参加

クリーンキャンペーンや学区大掃除の日などにワンニャン会として参加し、ごみ拾いを行う。

③ 飼い主のマナー向上啓発

飼い主のマナー向上啓発のため、手作りの看板を設置する。

【住民への PR 方法】

伊勝保健委員 39 人で飼い主の全戸調査から入会まで全てを行った

【アピールポイント】

近隣学区の飼い主からも入会希望があり、活動の輪が広がっている。ふんの後始末等、飼い主の自主的なマナー向上活動推進にとどまらず、防犯等の面でも地域に貢献している。ペットの飼い主同士が普段から連携することで、災害時のペットの問題など共通する課題についても意見交換ができる。

2 きっかけ、背景

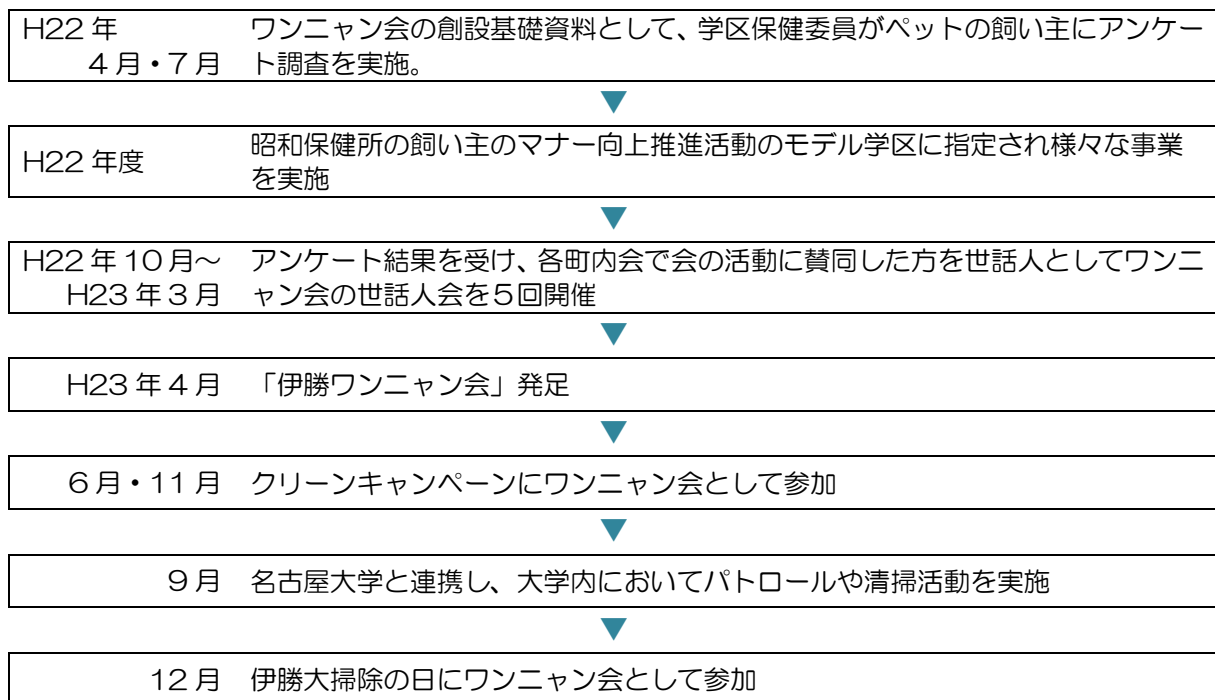
以前から犬猫のふん対策が地域の課題であり、平成 20 年に飼い主の集まりを創設しようとしたが、大きな集まりとはならなかった。平成 22 年度に伊勝学区が飼い主のマナー向上推進活動のモデル学区に指定され、様々な事業を行ったことをきっかけに、災害時のペット対策や防犯など、ふん対策以外にも視点を広げることで賛同者が増え、平成 23 年にワンニャン会として発足することができた。

3 実施の体制

- (1) 運営メンバー
保健委員、地域住民 計 39 人
- (2) 他団体との協力
保健委員会、昭和保健所



4 実施のスケジュール



5 成果と課題

- (1) 成果・効果
住民意識の高まり、交流の深まり。飼い主同士が連携して取り組むことでネットワークづくりに役立った。
- (2) 苦労した点
飼い主は個人の 3～5 人程度の集まりが多く、それぞれ結束していたため、町内ごとのような全体の集まりを創設することへの理解が得られにくかった。
- (3) 今後の課題・展望
現在の飼い主 317 軒のうち会員となっているのは 227 軒であり、全員参加を目指したい。
- (4) メッセージ・アドバイス
発起人や関係者がやる気になって多くの賛同者を得ることにより事業が発展していく。